

# 県かこ 兵庫県立加古川医療センター

## 地域医療連携ニュース



vol.  
**100**  
2020年12月  
2020年1月号

発行：兵庫県立加古川医療センター 〒675-8555 加古川市神野町神野203番地 <http://www.kenkako.jp/>  
TEL：079-497-7000(代表) TEL：079-497-7011(地域医療連携部直通) FAX：079-438-3756(地域医療連携部直通)

もくじ

- |                             |                        |
|-----------------------------|------------------------|
| ● 院長新年挨拶…………… 1             | ● リウマチ膠原病センター…………… 7   |
| ● 新型コロナウイルス感染症対策について…………… 2 | ● 血液浄化センター・腎臓内科…………… 8 |
| ● 総合内科…………… 3               | ● 検査部…………… 9           |
| ● 放射線科…………… 4               | ● 外来診療表…………… 10        |
| ● 地域医療連携会議…………… 5・6         |                        |

## 新年のご挨拶 ～新型コロナウイルス感染症拠点病院より～

新年、あけましておめでとうございます。

旧年中は当センターの運営に格別のご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、約1年前に中国武漢で発生した新型コロナウイルスは、またたく間に世界中を席卷し、医療界だけでなく、人々のライフスタイルまで変える事態に至っています。

当センターも例外ではなく、昨年は新型コロナに翻弄された1年でした。

昨年の本ニュースでもお伝えしたように、当センターは県内全域の新型コロナ患者に対応する“拠点病院”に指定され、ここまで、全職員が意を一つに連帯し、拠点病院の使命を果たすべく、全力で奮闘してきました。

第1波から、第3波の極期と言える現在まで、当センターで受け入れた新型コロナの確定患者は350名を超えており、疑似症も含めれば、400名は優に超える患者を診療してきました。そのうち集中治療を要した重症者は40名、残念ながら死亡されたのは25名でした。死亡者数が多い理由は、当センターは当初、中軽症者の受入施設として拠点病院の要請がありましたが、明石以西には重症者を受け入れる施設がなく、阪神地区で溢れた重症者や、北播磨、姫路等で重症化した圏域外の患者を救命救急センターに多数受け入れたためと思われます。

今年は増え続ける重症者を少しでも受け入れるべく、兵庫県は重症専用の臨時病棟を当センターの敷地内に建設することになっています。

しかし、病床確保よりもさらに困難を極めるのが、新型コロナに対応するスタッフの確保です。県には既に人材確保の要請をかけていますが、現時点でも状況は逼迫しているため、医師は内科系だけでなく外科系医師も、看護師は一般病棟の看護師も感染症病棟に投入せざるを得なくなっており、既に一般診療にも大きな影響が出ています。そのため、地域の医療機関の皆様には多大なご迷惑をおかけしていることをお詫び申し上げます。

しかし、加古川医療センターが兵庫県の新型コロナとの戦いの最前線で、県民の命をウイルスから守るという使命を与えられていることを是非認識して頂き、さらに、皆様ご自身がしっかりと感染対策をとって頂くことこそが、医療崩壊を防ぎ、当センターが兵庫県の新型コロナ対策の最後の砦としての役割を果たしていく上で、最も重要なことと確信します。皆様のご支援、ご協力のほど、どうぞよろしくお願い致します。



院長  
原田俊彦

## 新型コロナウイルス感染症対策について

感染管理認定看護師 森下直美

中国・武漢で発生した新型コロナウイルス感染症は発表から約1年が経とうとしています。当院は兵庫県全域の患者に対応する「新型コロナウイルス感染症拠点病院」として令和2年3月11日より兵庫県全域の新型コロナウイルス感染症患者を受け入れてきました。当院での新型コロナウイルス感染症患者への対応や感染対策についてお伝えしたいと思います。

### 感染症病棟（軽症～中等症の患者さん対応）

当院は第一種感染症指定医療機関のため全病室陰圧対応の個室を有する感染症病棟が8床あります。感染が解除されるまでの間、病室から一步も出ることが出来ない環境となるため、患者さんのストレスを考慮して、一般病棟を患者エリア（居住空間）として対応することにしました。入院中の患者さんは、患者エリア内を自由に動くことができます。私たち医療従事者は、患者エリアに入る際、個人防護具を着用してケアを実施しています。



### 加古川医療センター標準予防策（KSP：Kenkako Standard Precaution）の遵守

新型コロナウイルス感染症は発症の約2日前から人にうつす力を持っていると言われています。もしかしたら私たち医療従事者も、外来受診や一般病棟入院中の患者さんも実は感染しているかもしれない！そのため相互にマスクを着用する事を徹底しています。もし、マスクの着用が難しい患者さんがおられる場合は、医療従事者が目を保護する対策を徹底しています。

### ちなみに

職員同士の休憩もできる限りソーシャルディスタンスです。



### 最後に

新型コロナウイルス感染症の感染対策に関しては、最初は手探りのためやや過剰な部分もありましたが、特性が分かってきており、感染防止対策も適正に行えるようになってきました。今後も、正しい知識に基づいて対応していきたいと思います。



# 総合内科

総合内科主任医長 日野 泰久

## その特色と本年度の総合内科

総合内科は、様々な症候に対して、より広い観点から総合的な病態診断を行い、エビデンスに基づいた診療を行う診療科です。当センターにおける内科領域のプライマリ・ケアの中心的役割をはたしており、各専門内科のみならず、各科領域の専門医と連携をとりながら、より正確で質の高い診療を目指しています。

本年度は新型コロナウイルス感染症が昨年度終わりより急速な拡大をみせ、当院が新型コロナウイルス感染症拠点病院となったことにより、各診療科がそれぞれの特性にあわせ協力して対応する体制となり、当科も診療のほとんどを新型コロナウイルス感染症対応に傾けております。

(図1)

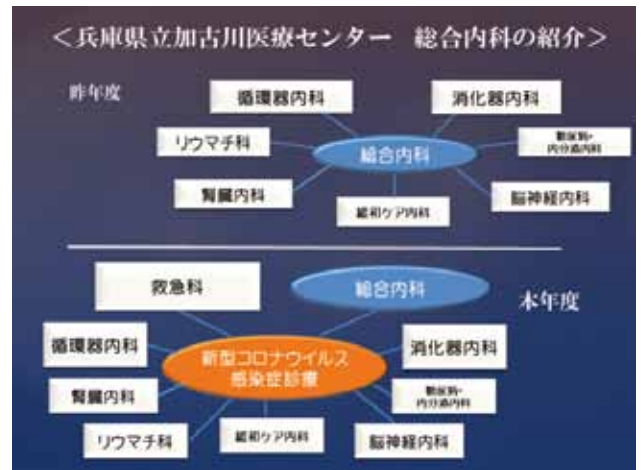


図1

## 総合内科の実績

2019年度は延べにして2433人の外来診療と417人の入院診療にあたりました。2019年度の入院診療疾患の内訳は別表のようになっています。内科領域のcommon diseaseに幅広く対応していることがわかりますが、比率として多いのは急性肺炎をはじめとした各種感染症です。また、不明熱、電解質異常など確定診断がつかず入院されるケースも多く、内科診断学を駆使し、感染症、腫瘍疾患、膠原病アレルギー疾患、内分泌・代謝疾患等の鑑別診断を行い適切な治療に結び付けています。(図2)

新研修医制度や内科専門医制度においても、内科プライマリ・ケアや総合的な内科診断能力の習得が重要視されており、研修医専攻医など若手の先生のスキルアップや教育においても、重要な役割をはたしています。

## 2019年度診療実績(入院診療疾患の内訳)

呼吸器疾患(肺炎など)	126
消化器疾患(胃腸炎、肝障害、胆管炎など)	62
神経疾患(意識消失発作、髄膜炎など)	30
血液疾患(貧血など)	9
感染症、膠原病、不明熱	115
代謝疾患(糖尿病、電解質異常など)、循環器疾患	75
合計	417

図2

## 地域医療機関の先生方へ

現在は新型コロナウイルス感染症対応に主力を傾けており、初診予約、当日紹介を含め本来の総合内科診療は休止しており、地域医療機関の先生方には多大な御迷惑をおかけしております。今後、新型コロナウイルス感染症が終息していき、総合内科診療も徐々に再開していければ、内科プライマリ・ケアとして一般内科的な診療を希望される症例や、地域の先生方が診療に当たられているなかで、病態をもう少し深く検査検討することが望ましいと思われる症例などをご紹介頂き、診療にあたることができると存じます。



### 総合内科スタッフ

日野 泰久 (平成5年卒)      〈内科専攻医〉 櫻谷 悠也 (平成28年卒)  
 中村 幸子 (平成14年卒)      芳村 魁 (平成28年卒)  
 大北 弘幸 (平成17年卒)      前田 岳志 (平成29年卒)  
 石田 育大 (平成24年卒)      藤井 研己 (平成30年卒)

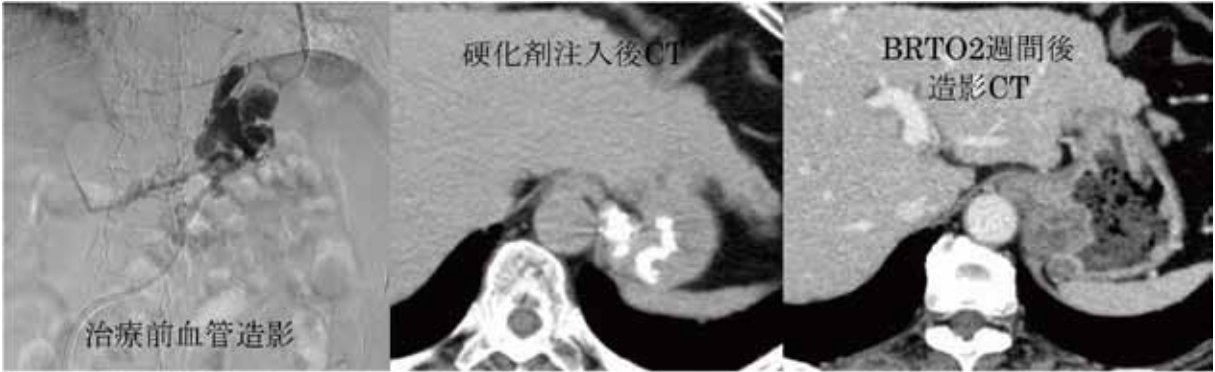
放射線科

放射線科医長 木下 知恵子

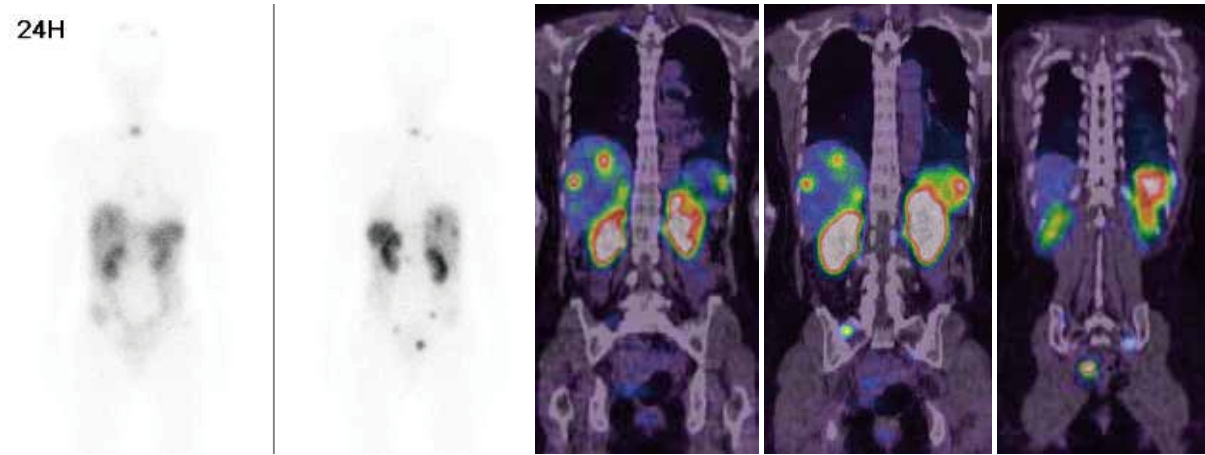
現在当科では、放射線診断を常勤医2名と非常勤医1名、放射線治療は常勤医1名と非常勤医3名で、放射線診療業務全般に取り組んでいます。

放射線診断では、64列と80列のマルチスライスCT、1.5T MRI、3T MRI、核医学検査のSPECT-CT装置、血管造影検査でのIVR-CT装置を導入しています。IVR(Interventional Radiology)に関しては、救急救命センターと連携した外傷性出血に対する緊急の止血術のほか、肝癌に対する肝動脈化学塞栓療法、門脈圧亢進症に対するカテーテル治療、下肢閉塞性動脈硬化症や透析シャント不全に対する経皮的血管形成術・ステント留置術、原発性アルドステロン症に対する副腎静脈サンプリング、膿瘍などに対するCTガイド下ドレナージ術や腫瘍などのCTガイド下針生検、化学療法や在宅療養のためのCVポート造設術などIVR全般に幅広く対応しています。核医学検査に関しても、骨シンチ、脳血流シンチ、ドパミントランスポーターシンチ、心筋シンチなど多様な検査を行っております。

〈胃静脈瘤のBRTO〉



〈ソマトスタチン受容体シンチグラフィー〉



地域医療機関の先生方へ

院外からの画像診断やIVR全般だけでなく、疼痛などの症状緩和を含めた入院による放射線治療についても地域医療連携部を介して対応しております。放射線治療をはじめとして、下肢の閉塞性動脈硬化症や透析シャント不全に対する血管形成術、肝癌に対する動脈化学塞栓療法なども入院対応しておりますので、ご紹介頂ければ幸いです。

## 第15回地域医療連携会議を開催しました

2020年11月12日、第15回地域医療連携会議を加古川市民会館にて、開催することができました。徐々に新型コロナウイルス感染症が拡大する中、万全の感染対策を払って、WEB会議を併用して行い、加古川医療センターにおける新型コロナウイルス感染症への対応状況等についてお話ししました。



### 加古川医療センターの現況

院長：原田 俊彦



新型コロナウイルス感染症拠点病院として、3月11日よりコロナ陽性患者の受け入れを開始し、第1波の時には最大44名の陽性患者が入院しました。その後の対応として、ウイルスの持ち込みを防ぐために、面会禁止・外来患者の問診・検温によるトリアージ、PCR外来のドライブスルー、術前PCRの導入等を行ってきました。今後は、With Coronaの時代として対応していきます。

### 新型コロナウイルス感染症拠点の現実

院内感染対策委員長兼循環器内科部長：岩田 幸代



県内全域のどこにも入院させてもらえない新型コロナウイルス感染症陽性患者さんの入院を引き受ける病院をMISSIONとして、病棟を再編成しながら対応しています。感染病棟や感染症外来の様子などの取り組みを紹介しました。なお、ドライブスルーでのPCR検査は平日12時までには受付し、14時に検査をおこなっていますので、相談して下さい。

### 新型コロナウイルス感染症に対する救命救急センターの対応

救命救急センター長兼救急部長：佐野 秀



救命救急センターでは、10月末日までに当院入院218名中41名の患者を診ており、県内重症患者の30%を当院で診療しています。患者の重症化やマンパワー不足、スタッフの心身へのストレスがかかっている中、救命救急センターとして、＜①継続してコロナ患者の診療を行う体制をつくる。②東播磨・播磨医療における救命救急センターとしての機能回復、維持すること。＞の課題に取り組んでいきます。



## COVID19を疑う患者さんのご紹介

下記の二つに重点を置いていますので 外来対応は可能な限り他の医療機関でお願いします。

### PCR検査のみ

診察はありません

ドライブスルーPCR



連絡；地域連携室（紹介状不要）

月～金；9～12時の受付

14時台検体採取、翌日16時結果判明

※1 金曜採取分のみ月曜判明となりますのでご注意ください

※2 結果はご本人にのみ伝達となります

### 入院加療が必要

疑似症として対応



連絡；かかりつけ科または内科担当

（夜間休日は当直医に電話）

隔離病棟入院、病原体検査

※結果判明後は速やかに外来移行や転院をお願いしています。

ご協力よろしくお願いいたします

兵庫県立加古川医療センター 2020.11.12

### 地域医療連携会議の様子



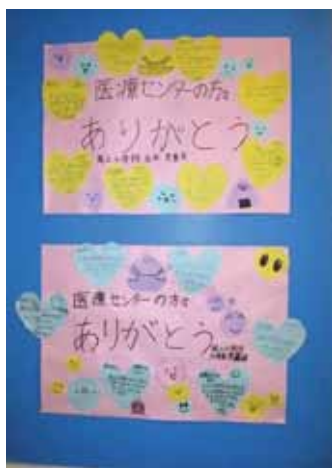
〈会場〉



〈受付〉

### 皆さまからのメッセージ紹介

近隣の皆さまからたくさんの励ましのお言葉をいただきました。



# リウマチ膠原病センター

リウマチ膠原病センター次長・リウマチ科部長兼整形外科部長 中川 夏子

当リウマチ膠原病センターは、2016年4月より診療を開始、内科と整形外科の専門医が月曜から金曜まで毎日診察を行っています。



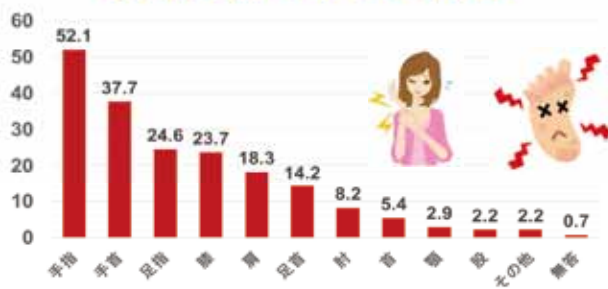
## 当センターの特徴

「断らないリウマチ科」をモットーに、兵庫県下全域、さらには近隣府県からもご紹介をいただいております。現在使用可能な生物学的製剤、JAK阻害薬を含めいずれの抗リウマチ薬も当院で処方可能で、処方している患者さんも年々増加しています。生物学的製剤の自己注射指導も経験と知識の豊富な看護師が行っています。関節リウマチ以外の多数の膠原病患者さんの加療も行っています。現在約3200人の患者さんの通院加療を行っています。また関節リウマチ関連の手術件数も、2016年4月から2020年3月までで合計412件となっております。

## 関節リウマチの診断・治療について

現在、関節リウマチは、治療の進歩により寛解を目標とすることが可能になっています。また、骨破壊が発症後早期かつ急速に進行することも明らかとなり、そのため、発症早期にいかにも迅速に診断されて速やかに適切な治療が開始されるかが極めて重要な時代となっています。関節リウマチの診断や薬物治療についてのご相談、または関節リウマチの手術に関するご相談も、適応の判断なども含めまして、どのようなことでも随時受け付けております。手術については、高度な手指・足部の変形など、手術できないかもしれないと思われるような場合でも、当院では手術可能ですので、ぜひご相談ください。膠原病に関しても、疑わしいがはっきりしない、否定できないような症状があるなどの場合はぜひご紹介ください。

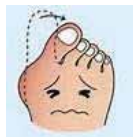
### 最初に痛くなった関節



ボタン穴変形



スワンネック変形



足趾変形

関節リウマチでは手指・手首・足指に症状が出やすいため、図のような変形も起こりやすいです。お困りの患者さんがおられましたらぜひご紹介ください。

## ■スタッフ紹介

**田中 泰史** (副院長兼リウマチ膠原病センター長・リウマチ科部長 昭和57年卒)

日本リウマチ学会専門医・指導医・評議員  
日本内科学会認定医  
日本リウマチ財団登録医

**塩沢 和子** (非常勤医師 昭和51年卒)

日本リウマチ学会専門医・指導医・評議員  
日本内科学会指導医・認定医  
日本リウマチ財団登録医

**中川 夏子** (リウマチ膠原病センター次長・リウマチ科部長兼整形外科部長 昭和60年卒)

日本リウマチ学会専門医・指導医・評議員  
日本整形外科学会専門医  
日本整形外科学会認定リウマチ医・スポーツ医・運動器リハビリテーション医  
日本手外科学会認定手の外科専門医  
日本リウマチ財団登録医

**吉原 良祐** (リウマチ科部長兼リウマチ膠原病センター部長 昭和60年卒)

日本リウマチ学会専門医・指導医・評議員  
日本内科学会総合内科専門医

**村田 美紀** (リウマチ科部長兼リウマチ膠原病センター部長 平成6年卒)

日本リウマチ学会専門医・指導医・評議員  
日本内科学会指導医・認定医  
日本リウマチ財団登録医

**上藤 淳郎** (リウマチ科医長兼整形外科医長・リウマチ膠原病センター医長 平成18年卒)

日本整形外科学会専門医

**西田 美和** (非常勤医師 平成19年卒)

日本リウマチ学会専門医・指導医、日本内科学会総合内科専門医

## 血液浄化センター・腎臓内科

腎臓内科医長兼血液浄化センター部長 加藤 陽子

平素より貴重な症例をご紹介頂き誠にありがとうございます。2016年12月に甲南加古川病院から診療機能を受け継ぎ血液浄化センターを開設し、この12月で丸4年が過ぎ5年目に突入しました。地域の先生方のご協力を得て診療を行うことができ、日頃のご厚意に感謝申し上げます。

今年は新型コロナ感染拡大の中での当科の状況についてお伝えしたいと思います。現在でも血液浄化センターでは透析患者さんの合併症入院を他科と協力して積極的に受け入れ、入院および維持透析外来通院を含め約100人弱の透析患者さんの治療を行ない、今年度も特に制限なく治療を行っております。

血液浄化センターには2床の陰圧室があります。当院は兵庫県の新型コロナウイルス感染症拠点病院ですので透析患者さんの陽性者が紹介されてきます。軽症から中等症の場合はこの陰圧室で治療を行っております（重症は救急部対応になります）。非コロナの方とは動線が絶対に交わらないようにしていますのでご安心ください。また透析患者さんは基礎疾患を有し中高年以上の方がほとんどですので重症化リスクの高い方が多いです。入院時は軽症でも数日で中等症、重症に悪化するケースもありますので注意深い観察が必要です。個人的な印象ですが、当院に入院された透析コロナ患者さんを診ると発熱などに加え食欲低下している方が多く普段より体重増加が少ないと感じております。引き続きスタッフ一同感染防御に努めながら治療にあたっていきたいと考えております。

そのほかコロナ以外では、昨年より開始した血液透析導入時のクリニカルパスの使用を継続し、看護師や臨床工学技士、薬剤師、栄養士による指導を統一化しています。ただし新型コロナ感染が拡大している現在は病床数削減のため、状態が安定していれば早期に退院、近隣の透析施設へご紹介させていただくケースも出ています。その際は引き続き治療をお願いいたします。

腎臓内科の外来では検尿異常から血液透析導入までを引き続き行っておりますが、新型コロナ感染拡大により診療を制限させていただく場合がございますのでご了承下さい。

最後に4月より小川啓子医師が着任しました。神戸大学医学部卒業後六甲アイランド病院や製鉄記念広畑病院で勤務されておりました。透析患者さんが安全に治療できることを第一に考え、非常に丁寧で熱心な先生です。新しい風と共にコロナ禍の困難な状況を乗り越えていきたいと考えておりますので、今後も地域の先生方のご援助を頂きながら地域医療に貢献できるようにスタッフ一同頑張っております。今後ともよろしくご厚意申し上げます。

### 診療体制

常勤医師1名、非常勤医師2名、

ベッド数40床（うち個室2床）月水金2クール、火木土1クールで通院及び入院の血液透析を行っております。

腹膜透析には対応していませんが、腎代替療法導入時期にはすべての治療法の説明を行い、当院で対応できない場合は適切な病院に紹介させていただきます。

### 主な対象疾患

- ▶ 慢性腎不全および急性腎不全の血液透析の導入
- ▶ 血液透析患者の合併症入院
- ▶ 潰瘍性大腸炎やクローン病、難治性水疱性類天疱瘡などに対する血液浄化療法

### 認定施設

日本腎臓学会研修施設  
日本透析医学会認定施設





# 検査部

検査技師長 藤中早代

## 新型コロナウイルス感染症検査について

### 【PCR検査：全自動核酸増幅検査システムBD MAX】（写真1）

4月17日より稼働。1回22検体搭載可能で、検査時間は2～3時間を要します。

BSL3（バイオセーフティーレベル3）室の安全キャビネット内で実施しています。（写真2）

当初の目的は、退院時に必要な陰性確認検査でしたが、その後、感染症状のある患者、手術前等で実施しています。



写真1: PCR検査機器

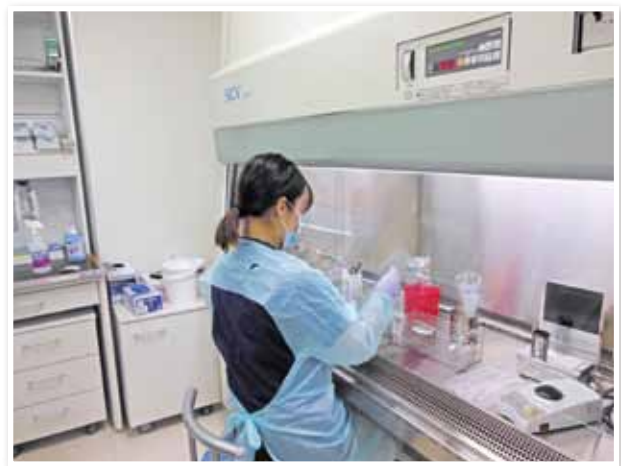


写真2: PCR検査実施

### 【抗原定量：免疫発光測定装置 ルミパルス】

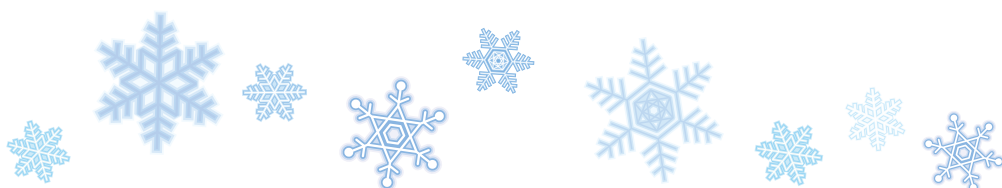
9月10日より稼働。PCR検査より感度は劣りますが抗原定性検査より感度が高く、随時測定可能で検査時間は40分と短く24時間体制で実施しています。

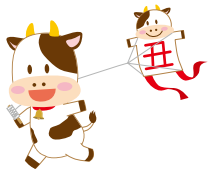
### 【実施件数】

県立病院でもPCR検査の実施を！との要請を受け、急遽全自動のPCR機器を導入しました。他の県立病院の検体も受けていましたが、順次自施設での検査体制を整えました。

当院もルミパルスに加え医師が随時実施できる全自動PCR装置も稼働しています！

### 院内PCR検査実施件数





# 県立加古川医療センター外来診療表

令和2年12月1日～

		月	火	水	木	金
総合内科	初診	石田	大北	日野	樫谷	中村
消化器内科	1診	埴本(さかもと)	【尹(ゆん)】(再診のみ)	廣畑(午前)	【尹(ゆん)】(再診のみ)	埴本(さかもと)
	2診	廣畑	岡田	【担当医】	廣畑	戒谷(えびすたに)
	3診				草野	岡田
循環器内科	1診	福田	鈴木(~14時)	岩田	片嶋	岩田
	2診	【禁煙】			【ペースメーカー】	
脳神経内科		木村	木村	木村		渡部
糖尿病・内分泌内科	1診	飯田	芳村	飯田	石田	樫谷
	2診		【立花】			
緩和ケア内科	入棟面談	担当医		担当医		担当医
	サポーターケア外来 (緩和ケア外来)	田中		田中		田中
生活習慣病		【尹(ゆん)】 肝炎	【戒谷(えびすたに)】 肥満	【大西】 肥満	【石井】 肥満	
		【福田】 禁煙	装具外来			
リウマチ科	1診	田中	田中	田中	田中	担当医1
	2診	村田	塩澤	塩澤	塩澤	担当医2
	3診	西田	吉原	吉原	吉原	担当医3
	4診	中川	【上藤】	村田	村田	中川
腎臓内科			加藤(午後)		加藤(1,3,5週)	
外科・消化器外科	1診	高瀬	衣笠	小林	担当医	高瀬
	2診	多田羅(たたら)	川嶋	門馬(もんま)		【衣笠】
心臓血管外科			担当医			担当医
脳神経外科	1診	担当医	森下	森下	担当医	相原
	2診		荒井	荒井		森下
乳腺外科	1診	石川	石川		石川	担当医
	2診	小林	担当医		小林	
整形外科	1診	原田	中川	高山	青木	
	2診	高原		市村	西原	
	3診	【青木】		原田	【高山】	
	骨粗鬆症 午後	【上藤】		【市村】		
形成外科	1診	櫻井	交代制	櫻井	櫻井	櫻井
	2診	谷口		谷口	谷口	谷口
	3診	【佐竹】		【佐竹】	【佐竹】	【佐竹】
皮膚科	初診/予診	【梅村】	【原田】	【高井】	【横山】	【梅村】
	1診	横山	足立	足立	竹内	足立
	2診	原田	梅村	竹内	原田	横山
眼科	1診		薄木	薄木	薄木	薄木
	2診	徳川	徳川	徳川		
	3診	秋田	秋田	秋田		
泌尿器科	1診	丸山	脇田	田中	丸山	田中
	2診		大場			大場
放射線科	(IVR)	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
	(治療)	担当医	担当医			担当医

**予約受付時間 平日 9:00～18:30 土曜日 9:00～11:30 (祝日除く)**

※各科診療予定は変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※【 】は予約できませんが、特別に受診を希望される場合等は、ご連絡下さい。

※リハビリテーション科・スポーツ整形は、主に学生アスリートの方を対象とさせていただきます。

※総合内科は新規紹介患者の受入れを当面の間(令和3年3月末までを予定)停止しています。

**お願い** 患者様の待ち時間短縮のため、FAXまたはインターネットで初診予約をお取り下さい。

